

表面処理加工の三光製作（浜松市中区）と金属加工の岩倉溶接工業所（島田市）が、富士山をデザインに取り込んだ金属雑貨を開発し、「抗菌富士」シリーズとして売り出す。「浜湖花博2014」浜湖ガーデンパーク会場（四月五日～六月十五日）の土産物売り場で販売する。インターネットのほか小売店などにも販路を広げる。

## めっきと溶接力互いの強み結集

# 富士山雑貨で新境地

商品は、富士山をシルエツトにした箸置き、ナイフ・フォーク置き（カトラリーレスト）、瓶などのオーブナー、富士山登山道をかたどったしおりの四種類。価格は千二百五十～三千五百円（税抜き）。

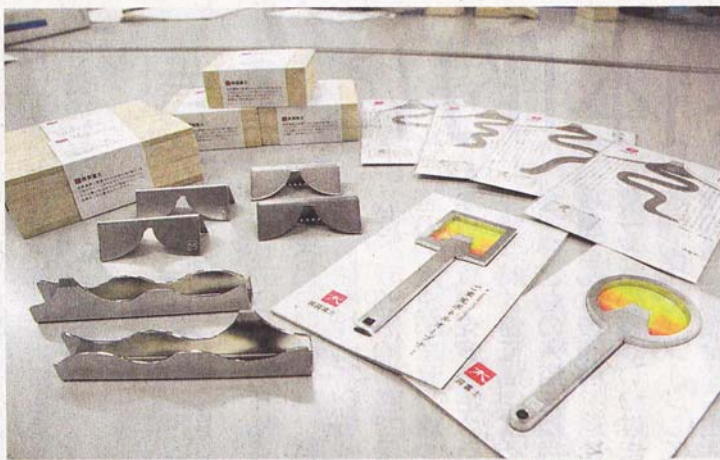
両社ともこれまで大手メーカーの下請けの仕事が中心だったが、国内の受注が減る中で新たな事業を模索していた。開発のきっかけは昨年五月、富士山が世界文化遺産に登録される見通しとなったことを知った三

光製作の山岸伸二専務（三）が、付き合ひのある岩倉溶接の岩倉義典専務（四）に企画を持ち掛けた。岩倉溶接が鉄の切断や曲げを担当。レーザーでシンボルマークを刻印した上で、三光製作が抗菌めっき

を施して仕上げる。商品デザインは岩倉さんの知人のデザイナー・花沢啓太さん（静岡市）が手掛けた。慣れない小売業界への営業にも力を入れ、富士山の関連商品を集めた総合展示会などに出席。これまでに博物館の売店などの引き合いが出てきたという。二〇二〇年の東京五輪を視野に入れて開発を続け、外国人観光客向けの土産品として定着させたいという。

山岸さんは「今まではお客さんから図面をもらって加工して納める仕事だった。自社の名前を出して、消費者に直接使ってもらった製品を作ることです。社員士気も上がる」と話している。

## 県内2社、花博会場で販売



部品加工メーカーが自社技術を生かして開発した「抗菌富士」シリーズ＝浜松市内で

### 他業界に仕事広げる



先代社長の父は「輸送機器の仕事だけではこの先、飯を食えない」とよく話していた。その言葉が予言していたかのように、リーマン・ショックを境に企業城下町としての浜松は衰退の一途をたどる。

「他業界へ営業に回る中で、新規の仕事を始めると難しさにぶち当たった。ただ、新たな製品に挑戦することが技術力の向上につながっている。「抗菌めっきや黒色系の表面処理などの技術を高め、他社との差別化を図ってほしい」

### ひと言